

<8月第1例会報告>

書記 野呂 隆

- ・日時:2017年8月6日(木)
17:00~21:00
- ・場所:ユニバードーム(地下鉄学園都市駅前)
- ・出席者:佐伯、達、田辺、丹家、中村、長坂、野呂、檜木、
- ゲスト:西神戸YMCA職員3名



学園都市の地元自治会の主催で、ショッピングセンターのキャンパス名店会が協賛して、2年ぶりにおこなわれましたが、大勢の人出で大変盛り上がりのあるお祭りになりました。

学園都市のYMCAは、来場された方たちに瞬発力測定と握力測定をおこないました。私達は2時間前の15時に現地集合してテント張など会場設営、測定の補助、後片付けなどを手伝いました。

全身反応瞬発力測定はマットの上に立って、目の前に光る小さなフラッシュの瞬間に俊敏にジャンプして反応能力を測るもので、初めての試みでしたが想像以上の人気で行列ができ、握力測定とともに大勢の人が挑戦してくださいました。

ユニバードームには、やぐらとステージが設けられて、自治会の人たちの盆踊りや地元の大学、高校のダンス部の演技とか、吹奏楽や和太鼓などの演奏が披露されました。YMCAのキッズダンスがステージの最初で出演し、リズムカルでかわいい踊りを披露して拍手を浴びました。

学園都市のまちと人、人と人を結ぶ年に一回の本当に楽しいお祭りで、参加できてよかったと思っております。

<9月第二(事務)例会>

- ・日時:2017年9月7日(木) 19:00~21:00
- ・場所:西神戸YMCA
- ・出席者:佐伯、杉本、館、達、田辺、丹家、長坂、中村、野呂、檜木、藤井(信)、藤井(久)

1. 報告事項

- (1) 報告書類配布:西日本区報、同メネット報(両報とも2017.8発行)等を配布
- (2) 学園夏まつり8月6日(日) 17:00~21:00
場所:ユニバードーム(地下鉄学園都市駅前)

詳細は「8月第1例会報告」をご覧ください。

(3) 六甲部Yサ・ユース事業委員の会

9月4日(月) 19:00~ 神戸YMCA

大野理事、山川事業主任、杉本六甲部長、上野Yサ主査、井上総主事、各クラブの代表が出席した。当クラブからは杉本部長、長坂委員、達主事が出席し、毎年ワイワイまつり、チャリティーラン、YYフォーラムに参加していることなどを紹介した。山川主任より、Yサは大切にEMCにも繋がるので、新しいイベントを企画するなど尽力下さい、との話があった。

(4) 連絡主事研修会 8月8日(火)神戸YMCA

参加者:杉本六甲部長、達六甲部主事

達主事よりYMCAの先輩の鈴木誠也氏(神戸ポート)より、仕事の中から喜びを生み出すことなど、自身の仕事の経験に基づいた興味深いお話があった。

(5) 六甲部EMC推進チーム会議

8月9日(水)18:00~20:30 神戸市青少年会館

大野理事、三科事業主任、杉本六甲部長、上野Yサ主査、各クラブ代表などが出席し、各クラブの活動内容の報告、今後の取り組みについて話し合った。三科主任よりは「笑顔、みんなでコミュニケーション」をモットーに、目標をもって取り組んでほしい、との話があった。

(6) 六甲部会準備報告

六甲部会9月24日(日)開催

出席者:杉本六甲部長以下、12名の出席を確認し、未確認の人については連絡することとし、当日の会場係、受付など役割分担を調整した。

2. 協議事項

(1) 9月第一例会

9月21日(木) 19:00~21:00

卓話者 檜木メン「ヨットは楽しい」

例会終了後、会場で簡略に懇親パーティーを行う。

(2) 六甲部ローンボール大会

9月16日(土) 10:00~ しあわせの村、

参加者:中村、田辺、藤井(久)

(3) ワイワイまつり第2回実行委員会

9月12日(火)19:00~西神戸YMCA 田辺

(4) チャリティーラン協賛委員会

9月13日(水)19:00~神戸YMCA 田辺

(5) 10月事務例会 10月5日(木)

- 第一例会 (ワイワイまつり) 10月21日 (土)
 (6) 11月事務例会 11月2日 (木)、
 第一例会 (チャリティーラン) 11月3日 (金)
 (7) DBC締結に向けて岡山クラブの第1例会
 に出席。11月21日(火) 出席者：阿部夫
 妻、杉本、田辺、中村、藤井 (久)
 (8) 黒にんにくファンド：9月9日 (土) に入
 荷の予定
 (9) クリスマス会 12月の開催で日にちは未定。
 (10) 芦屋クラブ20周年記念例会 12月23日(土)
 出席者：杉本、田辺、中村
 (11) 全国リーダー研修会への支援金
 YMCAに20,000円を寄贈した。

3. その他報告・協議事項

杉本部長公式訪問日程：

- ・神戸クラブ 9/12 (木) 杉本、
- ・三田クラブ 10/10 (火)、杉本、中村
- ・神戸西クラブ 11/16 (木) 杉本、田辺、藤井 (久)

<ワイズメンズクラブ連絡主事・ メンバー主事研修会 2017年度>

神戸学園都市クラブ連絡主事
 六甲部連絡主事
 達 直樹



神戸ポートクラブ・鈴木誠也氏を講師に招いて、8月8日(火)「ワイズ連絡主事研修会」が行われ、井上 総主事、各連絡主事が出席。杉本隆人 六甲部長も列席された。

～鈴木氏の経歴～

1966年4月に東京YMCA中央ブランチ・ボランティアリーダー。1967年4月大阪YMCA入職。1982年4月大阪サウスクラブ担当主事(連絡主事=担当主事)1987年3月まで奉職。1988年社会福祉法人 神戸真生塾、NGO アジア教会友の会での奉仕を開始。維持会員として神戸YMCAに入会、委員会活動に参加。

神戸ポートクラブのチャーターメンバー・初代会長。2005年7月六甲部部長。2009年7月西日本区理事・広島県にて西日本区大会を実施。大会を通して、秋葉氏(当時の広島市長)やスティーブン・リーパー氏が「核兵器不拡散条約後の課題」について講演。阪神淡路大震災後10年をむかえたこの年に

「平和」をテーマにした鈴木氏のメッセージは広島・中国新聞にも掲載され、2016年アメリカ・オバマ大統領の広島県訪問に繋がった。

各クラブには、それぞれに歴史や風土がある。ワイズメンにも経験差があり、YMCA理解にも差がある。新入会者には、連絡主事からYMCAを支えるボランティア、更にYMCA会費制度を説明し、維持会員として支えて貰えるようにする必要がある。ワイズとYMCAを繋げる役割ではあるが、各自がYMCAの職員であり、クラブのメンバーであることの喜びをどのようにして得るかが大切であると伝えられた。

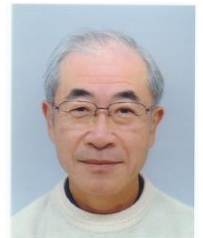
鈴木氏、杉本氏もはじめはYMCAプログラムへの参加者であったが、そのプログラムでの職員や他会員との関わりを通して、YMCAの理解を深めて行き、YMCAを支えるボランティアとなられている。

鈴木氏のYMCA職員としての働きやワイズメンとしての働きを通しての今回の学びを、それぞれの連絡主事としてのこれからの働き方の軸として心に留めておくと同時に、ワイズメンの働きは、すぐには目に見えないものかもしれないが、一人の人を→地域を→やがては世界をも平和に向かわせる大きな働きであることが確認できた実りある研修会となった。

<ANA チャーター便で行くスイス

ゆったりアルプス3大名峰と氷河特急デラックスシート9>(第2回)

丹家元陽 MEN



7月11日(月)

ロマンティックホテルシュバイツァーホフの水道水は冷たく、そのまま飲める。部屋のベランダからはアイガーが屏風のように立ちほだかり、早朝の日の出の陽光が山に映えるのをじっと見つめる至福の時間。

朝食後グルントから4人乗りのロープウェイで約30分、メンリッヒェンへ。このロープウェイは最近までヨーロッパで一番長かったらしい。途中でカランカランの音が。よく見るとはるか眼下に放牧中の牛の群れが。この音色は家によって異なっている。夏の間は新鮮な草を食べさせる為にハイジのお爺さんに預けるとの事。

では、牧畜農家の人々はこの間何をしているのか。これが重労働。長い冬の間、牛に食べさせる為の飼料作りで広い牧草地を半年の間に3~4回草を刈り、ロール状にした袋の中に栄養価を高める為の乳酸菌を入れて発酵させる作業に明け暮れる。スイスでは人工飼料を使ってはいけない。

標高 2,195m のメンリッヒェンからは左手にアイガー 3,970m、中央にメンヒ 4,099m、そして右にユングフラウ 4,159m が一望できる絶景！ここからクライネシャイデックまでの緩やかな下りのハイキングがスタート。森林限界を越えているので、ルートの内側には今を盛りと咲く高山植物が。1つ1つは本当に小さい。黄色はハイキンポーゲ、シャジクソウはピンク、ゲンチアナベルナは紫、シレネアカウリスは小さなピンク色、イワダイコンソウは黄色、そして群れをなして咲いているつつじ科のアルペンローゼの赤色が素晴らしい。

途中、スタスタと追い越していった日本人のグループ。みんな上から下まで mont-bell づくし。先頭にはモンベル会長立野さんの姿が。そうここグリンデルワルトにはモンベルの大きな店がある。

トマトスープ、ステーキ、サラダの昼食後、いよいよ赤い色で有名なユングフラウ鉄道乗車。1895 年(明治 28 年)日本では新橋、横浜間の汽車が走ってしばらくしての時代、アイガーの岩壁に最大勾配 250 パーミル、全長 9.3km のトンネルを掘り歯車をかませた電気鉄道を 16 年の歳月をかけて完成させた。今でも電力のほぼ 100%を水力発電で賄う国だからの発想。

途中2ヶ所の展望台を経て約 50 分で Jungfrauoch 3,454m 着。まず添乗員さんから一声。「絶対走らない

で下さい！」駅からは僅かな登りになっているのだが、足は筋トレを終わった直後のように重い。そして、まっすぐ歩いているはずだが、舟から降りた後の感じでフラフラする。じっと立っていると息は普通。しかし歩くと胸がつかえる。真に奇妙な気分。

ここから更にエレベーターでトップ・オブ・ヨーロッパと言われるスフィンクス・テラス 3,571m へ。周囲全て雪、雪、雪。左手にメンヒの山頂、右手にユングフラウの山頂。そして正面には壮大なアレッチ氷河がイタリアに向けて広がっている素晴らしさにウーン！

帰りの登山電車を乗り継ぎホテル着 PM5:00。スイスにはヨーロッパの車がいろいろ走っているが一番人気は四駆で有名な「スバル」との事。そしてここグリンデルワルトに来た目的の1つにお墓参りがあった。約 40 年前、我々の新婚旅行で訪れたパリでいろいろお世話になった日本人。妻の親戚に当たる方で数年前パリの自宅前で交通事故で亡くなられた。今は町外れの小さな教会に眠っておられる。毎年夏にはここに避暑に来られていて、往々アイガーを見渡すこの地に眠りたいと言われていたとの事。でも中々見つからず半時間以上捜してやっと見付け、手を合わせる事が出来た。

< 今 月 の 聖 句 >

求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい、そうすれば、見つかる。

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい、そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探すものは見つけ、門をたたく者には開かれる。あなたがたのだれが、パンを欲しがると自分の子供に、石を与えるだろうか。魚を欲しがると、蛇を与えるだろうか。このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして、あなたがたの天の父は、求める者に良い物をくださるにちがいない。だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」

(マタイによる福音書 7 章 7～12)

イエスは「すべきこと」を「しつづける」ようにと求めている。文語訳の「求めよ」「尋ねよ」「叩け」は、原文のギリシャ語では「求めつづけよ」「尋ねつづけよ」「叩きつづけよ」となる。野球のイチロー選手は「小さい事を重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道だ」と言っている。

論語の「己おのれの欲せざることを人に施すなかれ」は、自分がしてほしくないことは人にもしてはいけないという教えだが、イエスは「人から自分にしてもらいたいと望むことを、人にもしてあげなさい」と説いた。論語の教えとイエスの教えの違いは、受け身か積極性かだ。

～ 声に出して読みたい新約聖書 齋藤 孝 著 草思社より ～